

専門学校広島工学院大学校

自動車体車整備科

【 シラバス 】

[指定時間] 自動車車体整備科

教科	教育科目	ID	科目名	教育内容	コマ数	年間授業時間
学科	車わく及び 車体の構造	1	材料	自動車の材料	3	5.4
		2	力学	自動車の強度 力学	1	1.8
		3	構造・機能	車体の構造・ 機能	15	27
	車わく及び 車体の整備	4	整備	車体整備	45	81
		5	板金	板金・溶接	40	72
		6	塗装	塗装	30	54
		7	損傷診断	損傷診断	12	21.6
	自動車検査	8	自動車検査	自動車検査	4	7.2
小 計					150	270
実習	車わく及び 車体の整備 作業	11	点検・分解・組 立調整・検査	車体整備	140	252
		12	板金	自動車の板 金・鋼板溶接	120	216
		13	塗装	塗装	120	216
		14	損傷診断	損傷診断	34	61.2
	自動車検査 作業	15	自動車検査	自動車検査	13	23.4
	小 計					427
					577	1038.6
(※自動車検査・自動車検査作業については、一級及び二級自動車整備士の養成課程を修了した者は免除)						

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
1	材料	自動車の材料	
担当教員	岡田 尚真 (実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等)		
選択・必修	必修	年次・学期	前期
授業形態	講義	授業時間	3コマ (1コマ90分) 5.4時間
目的・目標	自動車に一般に使用されている各種材料の種類、性質、用途などの基礎知識を理解させる。		
授業計画	自動車の材料 (車体整備)		3コマ (5.4H)
	自動車の主要構造 1.自動車の車体の材料 ○金属材料 金属材料の一般的性質 金属材料の機械的性質 荷重の種類 応力とひずみ 引っ張り強さ 伸び 硬さ 許容応力と安全率 衝撃値 2.金属の熱影響 ○鋼材の熱影響 ○鋼の熱処理 3.鉄鋼材料 ○炭素鋼 熱間圧延鋼板 冷間圧延鋼板 高張力鋼板 その他の車体用鋼板 4.アルミニウム 5.合成樹脂		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトリアス発行 プロフェッショナル THE 板金 株式会社プロトリアス発行 プロフェッショナル THE 塗装 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「基礎自動車工学」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70~79点)、可 (60~69点)、不可 (59点以下)		
備考	※1コマ (90分) 授業を 1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
2	力学	自動車の強度力学	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	前期
授業形態	講義	授業時間	1コマ（1コマ90分）1.8時間
目的・目標	自動車の基礎的な原理・法則を通じて、自動車整備士に必要な自動車基礎工学を学習するとともに、自動車工学に必要な計算知識を習得する。		
授業計画	自動車の強度力学（車体整備）		1コマ (1.8H)
	自動車の強度、力学 1.はり ○はりの種類 ○はりの支点と反力 ○はりに働く曲げモーメント ○曲げモーメント線図 2.自動車の荷重分布状態の計算 ○荷重分布計算の必要性 ○荷重分布の計算例		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「基礎自動車工学」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70~79点)、可 (60~69点)、不可 (59点以下)		
備考	※1コマ(90分)授業を1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
3	構造・機能	車体の構造・機能	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	前期
授業形態	講義	授業時間	15コマ（1コマ90分）27時間
目的・目標	自動車に関する、概論、車体の構造・乗用車・トラック・バスの基礎的要素を学習し、専門教科を学習するために必要な、基礎知識を習得する。自動車の検査の意義を理解させる。		
授業計画	車体の構造・機能（車体整備）		15コマ (27.0H)
	1.車体の構造 ○車体への要求事項 ○衝突安全ボデー ○歩行者障害軽減構造 車体の種類 エンジンの配置による分類 エンジンルーム・キャビン（車室） トランク・ルームの配置による分類 フレームの形状による分類 2.乗用車 ○モノコック・ボデー ○外装部品 ○ぎ装品の構造と機能 ○電装品 3.トラック ○キャブの形状による分類 ○荷台の形状による分類 ○フレームの形状による分類 ○構造と機能 ○キャブの構造 4.バス ○フレーム構造 ○ボデー構造		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトリアス発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトリアス発行「プロフェッショナル THE 塗装」 （社）日本自動車整備振興会連合会発行「保安基準適合性確保の点検」（特殊整備士用）		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優（80点以上）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（59点以下）		
備考	※1コマ（90分）授業を1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
4	整備	車体整備	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	講義	授業時間	45コマ（1コマ90分）81時間
目的・目標	車体整備に関する、乗用車、トラックの基礎的要素を学習し、専門教科を学習するために必要な、基礎知識を習得する。		
授業計画	整備（車体整備）	30コマ (54.0H)	
	1.車体整備の目的 車体の整備と検査 車体構造・機能の確保 車体強度の確保 車体耐久性の確保 車体外観の復元 検査における計測の重要性 不正改造の防止 2.ボデー、フレーム修正機器 可搬式油圧ラムユニットについて 3.フレーム修正機 床式フレーム修正機 台式フレーム修正機 ベンチ式フレーム修正機 4.乗用車の整備 5.計測 計測基本要件 車体寸法図 計測器の種類 6.フレーム修正機による整備 前部からの衝撃による変形の修正 側面中央部の破損変形の修正 後部の追突による変形の修正 7.部品の取替 部材の接合方法 修理用補修部品の種類 修理用補修部品の供給単位と補給形態 8.溶接部品の交換 部品交換の方法 カット交換作業 フロントサイドメンバの部品交換 ロッカパネルの部分交換 リアフェンダの部分交換 リアフロアとリアサイドメンバの部分交換		
	整備（車体整備）	15コマ (27.0H)	
	トラックの整備 フレームの狂いの分類、測定方法と使用工具 フレームの狂いの修正 フレームのき裂修理、狂いの修正、フレーム補強版、リベット作業		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトrios発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトrios発行「プロフェッショナル THE 塗装」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70～79点)、可 (60～69点)、不可 (59点以下)		
備考	※1コマ（90分）授業を1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
5	板金	板金・溶接	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	前期
授業形態	講義	授業時間	37コマ（1コマ90分）66.6時間
目的・目標	板金に関する、鋼板の損傷、板金作業の基礎的要素を学習し、専門教科を学習するために必要な、基礎知識を習得する。		
授業計画	板金（車体整備）	17コマ (30.6H)	
	板金 1.鋼板の損傷 損傷の理論的考察 塑性変形と弾性変形 損傷による加工硬化 損傷状態の種類 2.板金作業 板金作業方法と行程 準備作業 粗出し作業 整形作業 仕上げ作業 防錆、防水、防塵作業 打ち出し板金 引き出し板金 揉みだし板金 絞り あぶり出し板金 仕上げ、		
授業計画	板金（車体整備）	20コマ (36.0H)	
	溶接 1.電気抵抗スポット 自動車に電気抵抗スポットが用いられている理由と長所 電気抵抗スポット溶接の原理 接合強度の決定要因と主な支配要素 電気抵抗スポット溶接 溶接作業の注意事項 2.ガス・シールドアーク溶接 ミグ溶接の特徴、原理、作動順序、メタル移行の特性 シールド・ガスとワイヤ 3.電気抵抗スポット溶接とミグ・アーク・スポット溶接の比較 4.ガス溶接 5.電気アーク溶接		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 塗装」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70～79点)、可 (60～69点)、不可 (59点以下)		
備考	※1コマ(90分) 授業を1.8時間とする		

コード	科目名	項目名	
6	塗装	塗装	
担当教員	岡田 尚真 (実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等)		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	講義	授業時間	27コマ (1コマ90分) 48.6時間
目的・目標	塗装に関する、作業定義、材料、乾燥機構、設備機器、新車塗装工程、補修塗装、塗膜の欠陥と対策、安全衛生の基礎的要素を学習し、専門教科を学習するために必要な、基礎知識を習得する。		
授業計画	塗装 (車体整備) 1. 塗装作業の定義 ○塗装材料 塗料の構成 処理剤 下塗り塗料 中塗り塗料 上塗り塗料 その他の塗料・材料 ○塗料の乾燥機構 塗装設備・機器 塗装設備 塗装機器 2. 新車塗装工程 ○補修塗装 補修塗装の種類 標準塗装工程 パテ付けとパテの研磨 研磨紙と研磨機器 ○樹脂製品の塗装 3. 塗装の欠陥と対策 ○安全と衛生 ○規制法規、各種届出、必要資格 ○危険物について ○有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質による健康障害の予防について ○毒物及び劇物について ○作業者の注意事項	27コマ (48.6H)	
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 塗装」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70~79点)、可 (60~69点)、不可 (59点以下)		
備考	※1コマ (90分) 授業を 1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
7	損傷診断	損傷診断	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	講義	授業時間	12コマ（1コマ90分）21.6時間
目的・目標	車体の損傷診断について、損傷診断の基本要件、必要な基礎知識、車体の損傷診断トラックの損傷診断の基礎的要素を学習し、専門教科を学習するために必要な、基礎知識を習得する。		
授業計画	損傷診断（車体整備）	12コマ (21.6H)	
	車体の損傷診断 ○損傷診断の基本要件 ○損傷診断に必要な基礎知識 ○車体の損傷診断 ○トラックの損傷診断		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 塗装」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優（80点以上）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（59点以下）		
備考	※1コマ（90分）授業を1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
8	自動車検査	自動車検査	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	講義	授業時間	4コマ（1コマ90分）7.2時間
目的・目標	検査の意義を理解させ、その目的や必要性により色々な検査のあることを理解させる。また、検査用機器の構造、原理、取り扱い要領なども理解させる。		
授業計画	自動車検査（車体整備） 検査 検査の目的 検査作業の流れ 法令で定められた検査 各部の検査 検査用機器 自動車に対する法規制の概要、 道路運送車両法の抜粋	4コマ (7.2H)	
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「保安基準適合確保の点検（特殊整備土用）」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「二級自動車シャシ」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「三級自動車シャシ」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70～79点)、可 (60～69点)、不可 (59点以下)		
備考	※1コマ（90分）授業を1.8時間とする 自動車検査・自動車検査作業については、一級及び二級自動車整備士の養成課程を修了した者は免除		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
11	点検・分解・組立調整・検査	車体整備	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	前期、後期
授業形態	実習	授業時間	136コマ（1コマ90分）244.8時間
目的・目標	<p>損板金作業前後の内外装部品・機能装置の脱着作業を習得する。</p> <p>プレスライン、アールなどの複合面の損傷パネルにおいて、損傷診断からパテ整形までの一連作業を習得する。</p>		
授業計画	<p>車体整備</p> <p>部品脱着 フロントバンパー、リアバンパー、ヘッドライト、テールランプ、ドアトリム、ウインドレギュレータ、ガラス配線脱着、フェンダー、ドア、ボンネット、トランクリッド、脱着、位置調整</p> <p>損傷パネル取り外し、 ぎ装品パネル、損傷パネル粗出し修正、損傷パネル取り外し 新品パネル取り付け、仮付け、本溶接、パテ付け、パテ研磨 防水、防錆</p> <p>フレーム修正 各パネル（フェンダー、ドア） 損傷確認 ワッシャ溶接による修正 ハンマ・ドリーによる修正 プレスラインの修正 アール部修正</p>	136コマ (244.8H)	
学習方法	<p>①教科書を中心に授業を進める。</p> <p>②予習、復習を実施して、理解度を高める。</p> <p>③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。</p>		
教科書 参考資料	<p>日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」</p> <p>株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 板金」</p> <p>株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 塗装」</p>		
評価方法	<p>期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優（80点以上）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（59点以下）</p>		
備考	※1コマ（90分）授業を1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
12	板金	自動車の板金・鋼板溶接	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	前期
授業形態	実習	授業時間	120 コマ（1コマ90分）216 時間
目的・目標	<p>損傷面において、損傷範囲、塑性変形、弾性変形の判定ができ、損傷パネルの形状や張り剛性の修正ができる。 パテ整形までの一連作業が習得する。各溶接機器の取り扱い、特徴、注意事項が説明できる。</p>		
授業計画	板金	100 コマ (180.0H)	
	ハンマリングの基本作業 平板ハンマ作業（塑性、弾性変形を理解する）ハンマ・ドリー（オン、オフドリーによる修正） 損傷範囲の確認 塗膜剥離 エア工具の使用法 旧塗膜剥離 フェザーエッジング パテの攪拌、硬化剤との混合 パテ付け（しごき付け・盛り・ならし） パテ乾燥 パテ研ぎ（粗研ぎ、面出し、ライン、エッジ出し） スタッド溶接（パネル修正） 塗膜剥離 アース取り付け ワッシャ溶植、引き出し作業、溶植後の処理作業 絞り作業、 銅電極、カーボン電極による絞り作業		
授業計画	溶接	20 コマ (36.0H)	
	溶接前準備 ガス溶接 電気アーク溶接 ガスシールドアーク溶接 ガスシールドアーク溶接（プラグ溶接） スポット溶接		
学習方法	①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。		
教科書 参考資料	日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトrios発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトrios発行「プロフェッショナル THE 塗装」		
評価方法	期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80 点以上)、良 (70～79 点)、可 (60～69 点)、不可 (59 点以下)		
備考	※1 コマ (90 分) 授業を 1.8 時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
13	塗装	塗装	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	実習	授業時間	114コマ（1コマ90分）205.2時間
目的・目標	下地処理、調色、マスキング、ブロック塗装、ぼかし塗装、磨き作業の一連作業ができ、塗装面において塗り肌、色、磨き傷について理解する。		
授業計画	<p>塗装</p> <p>塗装練習、水吹き ブラサフ塗装までの一連作業の習得。 ブラサフ塗装足付け、マスキング、ブラサフ塗装、 上塗り塗装 ラッカーパテ塗布、ブラサフ研磨、上塗り塗装足付け。 チッピング塗装、シーリング作業 調色作業 白黒で明暗調色、ソリッド調色、メタリック調色、パール調色 塗装作業 ○1コートソリッド色 ブロック塗装（フェンダー、ドア、バンパー、小物部品など） ぼかし塗装 ○2コートソリッド色 ブロック塗装（フェンダー、ドア、バンパー、小物部品など） ぼかし塗装（ベース塗装のぼかし、クリア塗装のぼかし、実車塗装） ○2コートメタリック色 ブロック塗装（フェンダー、ドア、バンパー、小物部品など） ぼかし塗装（ベース塗装のぼかし、クリア塗装のぼかし、実車塗装） ○3コートパール、3コート塗装の調色、塗装作業 ブロック塗装（フェンダー、ドア、バンパー、小物部品など） ぼかし塗装（ベース塗装のぼかし、クリア塗装のぼかし、実車塗装） 磨き作業 ペーパーかけ（塗装面のゴミ取り、肌調整、ペーパー目消し） ポリッシャーを使用し磨き作業。 塗装面以外もすべて磨く。 コーティング作業</p>	114コマ (205.2H)	
学習方法	<p>①教科書を中心に授業を進める。</p> <p>②予習、復習を実施して、理解度を高める。</p> <p>③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。</p>		
教科書 参考資料	<p>日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 板金」 株式会社プロトリオス発行「プロフェッショナル THE 塗装」</p>		
評価方法	<p>期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優（80点以上）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（59点以下）</p>		
備考	※1コマ（90分）授業を1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学校
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
14	損傷診断	損傷診断	
担当教員	岡田 尚真（実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等）		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	実習	授業時間	34コマ（1コマ90分）61.2時間
目的・目標	<p>パネル修正で損傷したパネルの交換作業の手順・留意点を理解する。</p> <p>トラックのフレームの曲がりや亀裂の修理方法が説明できる。</p> <p>フレーム修正機の各種の名称、特徴が説明できる。</p>		
授業計画	損傷診断	34コマ (61.2H)	
	<p>フレーム修正機概要</p> <p>可搬式油圧ラムユニットの構造と使用方法</p> <p>フレーム修正機の種類と特徴</p> <p>フレーム修正機による整備</p> <p>トラックのフレームの狂いの分類</p> <p>乗用車のパネル交換による、接合方法、防水、防錆、防音処理、使用材料と工具機器について</p>		
学習方法	<p>①教科書を中心に授業を進める。</p> <p>②予習、復習を実施して、理解度を高める。</p> <p>③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。</p>		
教科書 参考資料	<p>日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」</p> <p>株式会社プロトrios発行「プロフェッショナル THE 板金」</p> <p>株式会社プロトrios発行「プロフェッショナル THE 塗装」</p>		
評価方法	<p>期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価</p> <p>優 (80点以上)、良 (70～79点)、可 (60～69点)、不可 (59点以下)</p>		
備考	※1コマ(90分) 授業を 1.8時間とする		

専門学校広島工学院大学
自動車車体整備科

コード	科目名	項目名	
15	自動車検査	自動車検査	
担当教員	岡田 尚真 (実務経験内容：自動車の車体整備・板金塗装 等)		
選択・必修	必修	年次・学期	後期
授業形態	実習	授業時間	12コマ (1コマ90分) 21.6時間
目的・目標	<p>検査の意義を理解させ、その目的や必要性により色々な検査のあることを理解させる。 また、定期点検整備記録簿の記載方法についても学習し、検査用機器の構造、原理、取り扱い要領なども理解させる。</p>		
授業計画	<p>自動車検査 (車体整備)</p> <p>検査 ホイールアライメントの点検・調整</p> <p>検査機器 概要 テスト測定 サイド・スリップ・テスト ブレーキ・テスト スピード・テスト ヘッドライト・テスト 音量計 (騒音計)</p>	12コマ (21.6H)	
学習方法	<p>①教科書を中心に授業を進める。 ②予習、復習を実施して、理解度を高める。 ③各章終了時、確認試験を実施して、理解度を確認する。</p>		
教科書 参考資料	<p>日本自動車車体整備協同組合連合会発行「自動車整備技術車体整備」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「保安基準適合確保の点検 (特殊整備士用)」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「二級自動車シャシ」 (社)日本自動車整備振興会連合会発行「三級自動車シャシ」</p>		
評価方法	<p>期末試験 60%、単元試験 20%、授業態度(確認試験、提出物、出席状況等)20%で総合評価 優 (80点以上)、良 (70~79点)、可 (60~69点)、不可 (59点以下)</p>		
備考	<p>※1コマ (90分) 授業を 1.8時間とする 自動車検査・自動車検査作業については、一級及び二級自動車整備士の養成課程を修了した者は免除</p>		